

# 月刊 やちまなこ

2014.5.15 発行

No. 198

## 5 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

湖沿いの丘に古い掘り抜き井戸があった。  
噴き上げる水は枯れることなく、やがて湖へ流れ下る。  
夏鳥たちの歌声が辺りから聞こえ、まるでその歌声に  
シンクロするように踊り、跳ね、飛沫といった思いの  
まま変化する水の姿を暫し見ていた。

## コッタロ川と湿原のほとりから

### 167 5月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

そよ風のメヌエットに誘われて、“ヨモギ萌え土の匂いと語り合う” 昨今はまさに、『春宵一刻値千金。花に清香有り。月に陰有り。』のコッタロです。

さて、9日にはツツドリも来て夏鳥達の多くが常連の我家の食客等と共に山や湿原での子育てに入り、庭を賑わしているのは10羽余りのシメで占められており、あとはカッコウが啼くのを待って畑に芋や花豆の種入れをしなければ恰好がつきませんよね。

ところで、死卵を抱き続けていた丹頂のコツ&タロは腐った卵が割れて44日目に断念した当日(4月27日)午後から、再交尾を始めしており、そろそろ二度目の産卵をするものと思われます。一方の第2コツ&タロのヒナは、5月8日、孵化したもようで、♂親のみ、ナワバリの見廻りを兼ねてエサ場に飛来してもすぐさま、2KM下流の湿原へと急ぎとって返しており、ヒナを連れてくる段取りをつけているらしいのですが、足が伸びる40日を過ぎなければ、よちよち歩きを連れてくるのは至難の業でしょう。

特筆すべきは、12年ぶりに現れたエゾクロテンとの再会で、絶滅を危惧していただけに全くもって感動的な出会いとなりました。日中、しかも歩武堂々とキツツキの食べ残した脂身に向かいまっしぐら。肉食獣らしい歯をむき出しにして食らいついた金アミから、どう猛に脂身をむしり取って味わい乍ら、目をつぶって悦に入ったり、地上に降り立っても舌なめずりする愛らしい表情から再三餌に取りついて存分に空腹を満たしたら山へと一目散。この日を境に、余程おびえたらしいネズミ軍団が鳴りをひそめており、効果抜群のネズミ退治であった一件に感謝々々。又、これより少し前の4月下旬、残雪斑な庭池のほとりで、夕暮れ時わらわらと集まったエゾ鹿母子8頭のうちの2頭が後足で立ち上がり、カンガルーもどきの遊びに興じている所をパチリ！ふっくらお腹には、来月出産予定のベビーもいて“孕み鹿力比べか丈比べ”している様子でしょうか？



## 湿原の住人たち その158

## エゾオオサクラソウ

鮮やかなピンク色の花が目立つエゾオオサクラソウが咲き始めました。よく見ると、愛らしい花の葉や茎にはボディーガードのように縮れ毛が生えています。花をのぞくと、子孫を残す工夫なのか、株によって雌しべが短いタイプと長いタイプがあります。北海道東部に多い花ですが、北海道のレッドデータブックには希少種と記されています。写真は湿原を見下ろす斜面にひっそりと咲いていたもので、エゾヤマザクラとともに足下に咲くこの花を愛でながらお花見ができました。



**夏鳥が続々登場** 4/19 はタンチョウコミュニティの音成邦仁氏を講師に迎えて「春のバードウォッチング」を、5/10 は有田茂生氏を講師に迎えて「釧路湿原バードウォッチング」を開催しました。



数が少ないオジロワシやチュウヒの登場はこの地ならではの。鳴き声に耳を澄まして18種類の野鳥を観察しました。【4/19】



心地良い陽射しの下、観察した野鳥の解説中に後の湿原からタンチョウの鳴きあう声が聞こえました。【5/10】

◎シラルトロ湖、茅沼蝶の森で開催

## つぼちの塘路周辺うろうろ日記 Vol.74 「サファイアブルーの輝きは・・・？」

標茶町の天然記念物キタサンショウウオ。館内に展示コーナーはあるものの、写真はパネル一枚だけと少しさびしい状況です。郷土館ではキタサンショウウオの調査を毎年行っていますが、展示用の写真はあまりないため、いつかきちんと撮影したいと思っていました。キタサンショウウオを確実に撮影する為には、卵塊を生む春の季節に限られ、しかも彼らが生殖活動をする夜間しかチャンスがありません。キタサンショウウオの産みだした卵のうはとても美しい青色で、サファイアのような輝きです。今年は撮影に挑戦してみようと真夜中の湿原に行ってきました。

卵のうは発見したものの、産んでから時間が経っているらしく、青色はほぼ失われていました。キタサンショウウオも産卵を終え、どこにも見当たりません。来る時期が遅かったようで、今年は大失敗に終わりました。年に一度の勝負なので、また来年に持ち越しです。

坪岡 始 (標茶町郷土館学芸員)



